

♪♪ 令和2年度早川南小学校だより ♪♪

はるき



令和2年8月26日

No.13

校長 河西弘明

2学期がスタート…！

12月23日までの80日間！

いつもの夏よりも短い25日間の夏休みが無事終了し、本日2学期がスタートしました。

1学期終業式の日子どもたちと約束した、「元気に過ごし、2学期に全員そろって学校に来る!」ということを守ってくれました。保護者の皆様には、夏休み期間中は新型コロナウイルス感染症対策や、猛暑だった夏の熱中症対策など、子どもたちの健康と安全にご配慮いただきありがとうございました。子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか…。少ない日数ながらも、お盆もあり、ご家族で団らんの時を過ごせたかと思えます。

夏休み中、吹奏楽練習日が2日あり、同じ日に図書館も開館したので、1・2年生も登校してくれて、大勢の子どもたちの元気そうな姿に接することができホッとしていました。残暑厳しい中でのスタートとなりましたが、学校では引き続き、子どもたちの健康と安全を第一に考えてまいります。2学期は、最も長い学期であると同時に、子どもたちの成長を促す大きな行事もある学期です。充実した学校生活を送ることで、実りの秋となるよう、職員一同、改めて頑張っていく所存です。2学期も、どうぞよろしくお願いいたします。



宿題をたくさん抱えて元気に登校！

おもいやり・・・①地球へ ②友だちへ

始業式の話の中で、子どもたちに、「おもいやり」ということについての、2つの話をしました。

1つ目は、私たちの住む「地球」への思いやりです。

Facebookにも投稿しましたが、休み初日の8月1日には、連合PTAの一環で、「早川クリーン活動」が早朝より行われました。ご参加・ご協力いただき、ありがとうございました。私は、学校のすぐそばを流れる春木川の河川敷に降りて、様々な種類のごみを拾いました。世界的に環境問題が話題となり、テレビC



大きなごみ袋3つ分集めました！

Mなどでも、環境を守る活動を呼びかける内容や、私たちのちょっとした行動が、環境を破壊したり、守ったりすることにつながるということが叫ばれています。

6年の理科でも、「地球をめぐる水」について学習する単元があります。地球上の生命体にとって必要な水は、私たちは身近にあるが故、つついその大切さについて感覚がマヒしてしまう部分もあります。しかし、人間でいえば血液と同じです。体にとって、良いものも悪いものも全体に行き渡らせます。また、もう一つ大切な空気。これも、同様です。人間は、自然のサイクルの中で生かされているわけですから、地球全体のバランスを考えて生きて

いくという責任を果たさなくてはなりません。人間だけよければ…、というこれまでの行動が、今の地球温暖化につながり、今年のような猛暑を引き起こしているということを、子どもたちにも伝えました。環境へ目を向ける教育の重要性は言うまでもありません。子どもたちの意識を、地球への思いやりという視点で、そしてそれが自分たちの生活・命を守ることにつながる、ということについて考えさせていきたいと思えます。

2つ目は、「友だち」への思いやりです。

新型コロナウイルス感染拡大は、とどまるところを知らない状況が続いています。誰もが感染してしまう可能性がある状況です。そんな中で言われていることは、「コロナよりも人間が怖い」という話題です。病気そのものへの恐怖心は誰しもあると思いますが、感染してしまった時の他者からの中傷や差別はもっと怖いということです。細心の注意をしても、かかるはずがないと思っても、…万が一、自分や友達や家族や身近な人がそうなった場合に、どのような言葉掛けをするのか……。子どもたちには、「早くよくなるといいね。待っているからね。」と、そういう思いやりの言葉をかけられる人になってください、と話しました。初日でしたが、良い聞く姿勢で、耳を傾けてくれました。とても凛とした始業式でした。

教頭先生のおわりの言葉にあった、「早川南小のみんなが、もっと仲良くなって頑張ってくれることを願っています。」のように、みんなで頑張っていきたいと、改めて心に思いました。



上履きを新調した子が多くいました。成長著しいですね！



久しぶりの校歌！1番のみ…。



3人が、夏休みの思い出と、
2学期の抱負を発表してくれました！



先生から生活についての大切なお話。



式後、地区別集会で、
登校班の確認もしっかりと行いました。

